

2006年度  
Block 6前期 テュートリアル課題

課題番号 3

からだが熱い



小児科学 池谷 紀代子

シート1

ひろきくんは先週1歳の誕生日を迎えた、元気な男の子です。

でも、今日は朝から食欲がありません。

おでこを触ったお母さんは、ひろきくんのからだは熱いのでびっくりしました。

抽出を期待する事項

- 1) 乳幼児の発熱
- 2) 体温調節機構
- 3) 乳児の特徴

シート2

今日は、午後からかかりつけのおぐに小児科で健診をうけることになっていましたが、熱があるので、お母さんは朝から受診することになりました。

看護師さんが熱を測ったら39.3℃もあります。

診察した先生は、「のどが赤いですね。風邪をひいたかな。」と言って、薬を出してくれました。

「先生、お薬は、どうやって飲ませるんですか？」

抽出を期待する事項

- 1) 乳児健診
- 2) 風邪
- 3) 乳幼児の在宅医療指導：小児の薬と飲ませ方、発熱時の対処
- 4) 家族の不安への対応

資料

- 1) 母子手帳

## シート3

お薬を飲んで、熱はいったん 38℃くらいまでさがりましたが、しばらくするとまた上がってきました。

ひろきくんの機嫌がだんだん悪くなってきました。お気に入りのおもちゃで遊ぶこともなく、お母さんがだっこしていないとぐずって泣いてしまいます。

熱が出て3日目の夜、顔とからだに赤い発疹が出てきました。

翌朝、ひろきくんはおぐに小児科をもう一度受診しました。

診察した先生は、紹介状を書くからこれからすぐに大学病院を受診するように、とお母さんに言いました。

「え、大学病院ですか？」

びっくりしたお母さんに、先生は、受診を勧める理由を説明して、

「すぐに診てもらえるように、あちらの先生に電話しておきますから。」

## 抽出を期待する事項

- 1) 家庭看護
- 2) 発疹
- 3) 病診連携

## 資料

- 2) 診療情報提供書

## シート4

## 4-1

大学病院の受付で名前を言うと、「かかりつけの先生から、お電話をいただいています。」と、小児科の外来に連絡してくれました。すぐにやってきた看護師さんは、ひろきくんとおかあさんを一般の診察室から離れた部屋に案内しました。

「こちらで診察になります。ひろきくん、お熱を測らせてね。お母さんは、こちらの間診票に記入をお願いします。」

まもなく、診察室に先生が入ってきました。

「こんにちは、ひろきくん。小児科の大澤です。」

紹介状と問診票を読んだ先生は、お母さんにさらに詳しく尋ねました。

「辛いところごめんね、ちょっと診察させてね。」

診察のあと、先生は、検査と入院治療が必要です、と言いました。

## 4-2

ひろきくんの診察所見は以下のようなものでした。

体重 10.6kg、身長 75.5cm、頭囲 47.0cm、胸囲 47.5cm

体温 39.2℃、心拍数 120/分、呼吸数 30/分。不機嫌で泣いている。

大泉門 0.5cm x 0.5cm、膨隆なし。 項部硬直なし。

胸部聴診異常なし。

腹部 肝臓 2cm 触知。脾臓触れず。

頸部 右側に小指大リンパ節を2個、左側に1個触知。触ると嫌がる。

咽頭発赤著明。

抽出を期待する事項

- 1) 問診票
- 2) 小児の病歴聴取
- 3) 小児の診察
- 4) 小児の検査
- 5) 川崎病の診断、病態
- 6) 医師以外の医療スタッフの業務（他の医療関係職との連携）

資料

- 3) ひろきくんの問診票
- 4) 乳幼児発育曲線
- 5) ひろきくんの写真（1）
- 6) ひろきくんの検査所見
- 7) 胸部 X 線写真
- 8) 心エコー写真

治療をうけて、すっかり熱も下がりました。

「元気になりましたね。」

「ありがとうございました。もう、入院しているのが退屈みたいで、暴れまわっています。入院中に一人で歩けるようになりました。」

「ころんでけがをしないようにね。もうすぐ退院ですが、しばらくお薬は続けて下さいね。定期的に検査も受けて下さい。」

「はい、わかりました。あの、1歳になったので近くの先生のところで予防注射の予約をしていたのですが、退院したら受けても良いですか？」

#### 抽出を期待する事項

- 1) 川崎病の治療と管理
- 2) 予防接種

#### 資料

- 5) ひろきくんの写真(2)
- 9) 血液製剤使用同意書